



## 未来に想いを馳せる講演会(講師:山元賢治さん)の感想文を紹介します。

先月開催された講演会。同窓会やPTAの協力もあり、昨年に引き続き、山元賢治さんの講演会を実施することができました。皆さん、自分のどのような未来に想いを馳せることができましたか？その感想文を紹介します。はじめての1年生と2・3年生の感想で違う部分もあります。講演会を思い出し、「気づき」を共有したりすることにより、更にこの講演会が実り多きものになることを願っています。(この号だけでは紹介しきれないので、第4号でも紹介します。)

正直、あんな前のめりになって聞いたことなかったです。今回、教えていただいたことは、人間としてしっかりと身につけることができれば素晴らしいことだと思います。私は、しっかり夢を持っているので、その夢のためにたくさん努力していきたいと思いました。ですが、「将来みんな同じ教科書は持っていないから、自分で方法を探さないといけない」という言葉を聞いてこれからがすごく不安になった。もし、自分が見つけたのが小さな失敗ではなく、大失敗を招き、会社の名前に影響してしまったら…。そんなことを考え、不安になってしまいました。ですが、山元さんがおっしゃっていた「人と直接話す」など、今からできることは意識して、今のうちからやっていこうと思った。(1年女子)



僕は、機械関係や人をまとめるということにとっても興味がありました。そんななか山元さんの話を聞くことができ自分のなかでは人生一番の出来事となりました。今の生活・物などに満足していたら、これからの人生、これからの日本は低下していくと実感しました。この世界は「The only constant is change」変わり続けている。この世界の変化についていくために、様々な分野や出来事にアンテナをはってこれからの日本を引っ張っていけるような人になれるよう目指していきたいと思います。「Representative」指宿高校、鹿児島県民、日本人としての代表者になれるよう、短い学生時代を自分の人生に恥じぬよう、一生懸命に生きていきたいと思います。本日はとても楽しいひとときでした。もし、よろしければ、来年も山元さんの講演を聞きたいです。(1年男子)



他の講演の人は、同じ所にずっと立ったまましゃべっているのに対し、山元さんはずっと歩き続けていて、スクリーンの操作も、うしろを振り返って操作することなくしゃべっていたのがとても印象的だった。「決めるのは自分だけ」「デザインは自分で」という言葉を聞いて、昨日、親に成績のことでグチグチ言われたあとだったから、余計心に響いた。この講演を、ぜひ全国の親に見せたいと思った。「生きているだけで何かの代表」という考えは、今の日本人全体に足りない考え方なんじゃないかと思った。これからは、失敗を恐れず、そして、毎日笑顔を忘れずに、自分の考えを大切にしながら生活していこうと思った。(1年女子)

今回は「未来に想いを馳せる講演会」をしてくださりありがとうございました。自分は2回目の受講でしたが、前回より興味深く山元さんの話を聞くことができました。「手を積極的に挙げる。腹から声を出して話す。」などの生活していく中で重要な態度のことや「考え続ける。学び続ける。」という覚悟のことなど、前回「話を聞いただけ」だったと思い、気を引き締めなければと反省させられる話をしていただきました。世界の視点で話す山元さんの話を前回よりワクワクして聴くことができました。ありがとうございました。(2年男子)



私は今回の講演会をきいて、やっぱり講師の山元賢治さんの話ってすごいなあと思いました。今まで自分が考えもしないことを考えていて、何かの目標をしっかりとたて、それを実行するために、しっかりと行動に移していたりしているからです。また、今回の講演会で、一番心に残ったのは、孤独になる覚悟という言葉です。

私は、いつも周りに合わせてしまったり、流されてしまったりしているので、そんなのはやっぱりだめだな、一人でも目標に向かって努力することが大事だなあと思いました。今回の講演会を聞くことができよかったです。(2年女子)

私には将来の夢があります。その為に高校での勉強に励み、大学でも自分の学びたい分野についてとことん勉強したいと思っています。私は昨年、体調を崩してしまっていて、山元さんのお話を聞くことができませんでした。しかし、今年のお話を聞いて、自分の甘さに気づき、意識を変えていかななくてはならないと思いました。大学受験を控えた今年、そして大学生、社会人へと階段を上っていくために、大切なことばかりを教えてくださいました。これから先の未来は不安なことばかりですが、自分の好きなことをとことん楽しみながらできる仕事に就くためにやるべきことをしっかりと終わらせて、日々進化していけたらなあと思います。(3年女子)

山元さんのお話を2回も聞くことができ、僕は幸せでした。高2のときの気持ちで聞いたときと、受験生となってより「社会」という所に近づいたときに聞いた場合では、考え方が変わった気がします。僕は、人と話すことが好きだし、キャプテンや様々なところで代表をしたりしてきたので、将来、人をまとめられるような人間になりたいと思った。受験勉強は、大学のためじゃなくて、将来の目標・目的のための勉強にしたいと思った。人から学ぶスキルは大切だと思うし、自分自身のスキルを上げて、より自分らしい自分を築いていきたい。(3年男子)



今回、また、山元賢治さんの講演を聞くことができ、とても嬉しかったです。1年前には感じなかったことを感じることができよかったです。特に「今やっている勉強ほどラクなものはない」という言葉には受験生として意識改革させられました。社会に出たら自分で世界の速すぎる変化に追いつくために一生勉強を続けたいといけなから、今やっている勉強は範囲がものすごく狭いのだなと思いました。また、これからの人生は、一番よく話せて一生のライバルである同期を大切に、常に好奇心を捨てないで生活していきたいです。(3年男子)